

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和2年度第1回寒川町介護保険運営協議会		
日 時	令和2年6月30日（火） 午後6時30分 ～ 8時15分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場議会 第1・2会議室		
出席者	委 員：長崎委員（会長）、木藤委員（副会長） 永田委員、西村委員、小林委員、森委員、 吉川委員、中間委員、富岡委員、藤懸委員、 茶木委員、寺本委員 事務局：亀山福祉部長、長岡高齢介護課長、仲手川副主幹 中瀬主査、北野主任主事、柏木主任主事 （寒川町地域包括支援センター）佐藤センター長 ※傍聴者1名		
議 題	1 寒川町地域包括支援センターの運営について (1)報告 令和元年度実績報告 (2)議事 令和2年度事業計画について 2 寒川町介護保険事業の運営について 報告 令和元年度寒川町介護保険事業報告 ①高齢者人口、認定者数 ②介護サービス給付等の状況 ③介護予防事業の状況 ④地域密着型（介護予防）サービス・居宅介護支援・介護予防 支援事業所の指定等の状況 ⑤令和元年度取り組み状況実績評価 ⑥介護保険の第1号保険料の低所得者軽減強化について ⑦新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料減免に ついて 3 議事 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画） の策定について 4 議事 寒川町地域密着型通所介護事業所の新設について		
決定事項	議事についてはすべて了承		
議 事	＜議事前段の進行＞ ○交代委員へ委嘱状交付 ○町長挨拶		

	○出席者自己紹介 ○会長挨拶 ○配付資料の確認 ○議事録署名委員について 寺本委員及び永田委員であることを確認。 ○諮問 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）の改正について諮問を受けた。 議題1 寒川町包括支援センターの運営について (1) 令和元年度実績報告 佐藤センター長：【資料1に基づき説明】 長崎会長：2ページ目の（2）の中に介護放棄とあるが、このような何か後に問題が残るようなところは、スムーズに処置できたのか。 佐藤センター長：金銭的な問題で必要な介護サービスに結びついていなかったケースが見受けられたが、生活保護の案内等必要なサービスが入れるような形をとった。 小林委員：3ページ目の地域ケア個別会議は、令和元年は12件でいいのか。半分に減ってしまったのか。 佐藤センター長：令和元年度については、原則月1件で開催した。 (2) 令和2年度事業計画について 佐藤センター長：【資料2に基づき説明】 藤懸委員：総合相談のところでランチの立ち上げがあるが、もともとやっている出張相談とは何が違うのか。 佐藤センター長：出張相談は、現時点で、南北文化福祉会館に週1回、水曜日と木曜日に職員が順番に行って相談を受けるという形で行っているが、このたび立ち上げる南部地区においてのランチは、職員が常駐するというような形をとる。 中間委員：相談窓口の時間について教えてほしい。 佐藤センター長：詳細等はまだこれから検討するが、今の包括の窓口が開いている時間とほぼ同じ時間を想定している。 長崎会長：相談支援等の事業をやったものの結果や処理に
--	--

	ついては、権利にかかわる部分があるので、今でもきちんと整理されていると思うが、文書の規定か何かに基づいて整理しているのか。 佐藤センター長：受けた相談経過などについては、記録をして保管している。また、行政等との情報共有というところで密に連携をとりながら、こちらが支援した内容については記録を全て残し、保管している。 《結果 了承》 (佐藤センター長はここで退席) 議題2 寒川町介護保険事業の運営について (1) 令和元年度寒川町介護保険事業報告 ①高齢者人口、認定者数 ②介護サービス給付等の状況 中瀬主査：【資料3・4に基づき説明】 長崎会長：給付状況は大体予定に沿った流れということでよいか。 中瀬主査：お見込みのとおり。 ③介護予防事業の状況 ④地域密着型（介護予防）サービス・居宅介護支援・介護予防支援事業所の指定等の状況 柏木主任主事：【資料5に基づき説明】 北野主任主事：【資料6に基づき説明】 寺本委員：介護予防事業は、どの事業も非常にいい内容だと思っている。委託事業だが、行政職員もときどき様子を見に来てその状況について把握したほうが、より実態がつかめるのではないかと実際に参加して感じた。 柏木主任主事：年度当初や年度末の節目には、なるべく顔を出すようにしているが、ご指摘のとおりこまめに顔を出すことができていない状況にある。今後、なるべく現場に足を運び、状況把握に努めたい。 中間委員：シニアクラブで体操教室をやっているが、新型コロナウイルスがこのまま続いた場合に、何人ぐらいだったら開催していいのか、元気はっけん広場をどうするのかなどを検討してほしい。みんな早くやりたがっている。基準がはっきりすれば密にならないようなクラス分けなどもできる。ぜひ基準を作してほしい。
--	---

仲手川副主幹：町としても体を動かしたり、介護予防の知識を入れてほしいと思っているが、元気はっけん広場は健康管理センターで100人はとても多いという状況。厚生労働省からの大体のガイドラインに沿って、やり方について検討を進めている。講師派遣事業も、地域集会所の広さによってくるため、今この場で人数の基準は申し上げられない。

寺本委員：新型コロナウイルスに関する致死率の高さは、高齢者が一番高いので、一般の方の参加の事業よりもよく考えて、人数を確実にところで、なおかつできるだけ受け入れていくという点をきちんと押さえた上でやってほしい。

長崎会長：新聞等の報道を見ても、何が正しいのかよく分からない状況で行政側も難しいと思うが、慎重にお願いしたい。

⑤令和元年度取り組み状況実績評価

仲手川副主幹：【資料7に基づき説明】

藤懸委員：どこの市町村も新型コロナウイルスの自粛のせいで、評価が下がると思うので、交付税に影響するのはおかしい。来年度の事業も、全体的な目標値を下げないと、達成率が下がってしまう恐れがある。国からは新型コロナウイルスのせいであれば評価が落ちてでもいいですよということにはならないのか。

仲手川副主幹：令和2年度の目標については、中間報告のときにまた報告するが、その点を加味し、少し目標値を修正する必要があると感じている。そうは言いながらも、何か工夫をして目標を達成できないかということも、考えていかなければいけないと思っている。新型コロナウイルスの関係については、それを書くようにとの案内が国から来ているので、そのために回数が減っていますという形で報告している。

⑥介護保険の第1号保険料の低所得者軽減強化について ⑦新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料減免について

仲手川副主幹：【資料8・9に基づき説明】

木藤副会長：⑦について、条件は全国一律同じか。

仲手川副主幹：国でこういう条件の減免をした場合に財政

	支援をするというのが示されていて、寒川町はそれに合わせている。 議題3 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）の策定について 柏木主任主事：【資料10（追加）に基づき説明】 仲手川副主幹：【資料10に基づき説明】 森委員：認知症サポーターの状況は今のぐらいか。 仲手川副主幹：令和元年度だけで507人のサポーター養成講座受講者がいた。中には重複している方もいると思うが、毎年大体このぐらいの人が受講している状況。 長崎会長：今年度はこのスケジュールで協議会でも会議を開き、進めていきたいがよいか。 森委員：この計画（スケジュール）はきついと思うが、事務局は大丈夫か。 仲手川副主幹：国、県の情報もまだ十分に来ていない状況だが、何とか頑張りたい。日程が詰まってしまって大変申し訳ないが、協力をお願いしたい。 《この内容で了承》 議題4 寒川町地域密着型通所介護事業所の新設について 北野主任主事：【資料11に基づき説明】 質疑等なし 《結果 了承》 ○副会長閉会挨拶
資 料	資料1 令和元年度寒川町地域包括支援センター運営事業実績報告書 資料2 令和2年度寒川町地域包括支援センター事業計画 資料3 令和元年度 介護保険の状況 資料4 令和元年度の給付状況 資料5 令和元年度 介護予防事業の実績 資料6 地域密着型（介護予防）サービス・居宅介護支援・介護予防支援事業所の指定等の状況 資料7 第7次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）令和元年度取り組み状況実績評価 資料8 保険料の段階

	資料9 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した等による介護保険第1号被保険者の保険料減免について 資料10 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）策定スケジュール 資料11 地域密着型通所介護事業所新設について
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	寺本 偕子 、永田 真一 (令和2年9月11日確定)